

2026年度 入学前特別講座Ⅰ「ライティング講座」 報告書

入学前特別講座Ⅰ日目（2月12日）に実施された「ライティング講座」は、66名が受講しました。

講座の流れは「①アカデミックライティングという講義について ②書くということ ③アクティビティ：要約する」としました。講義についての説明では、ライティングセンターのチューターにも担当してもらい「小論文とレポートの違いについて」お話してもらいました。また、40分のアクティビティでは今年度「アカデミックライティングⅠ」で使用した課題を読み、要約するという活動を入れました。

受講後のアンケートを紹介します。（一部抜粋）

- ・書く力、読む力が大学でどれだけ必要かわかった。
- ・小論文とレポートの違いをしっかりと理解することができました。
- ・実際の授業がどのような感じで進むのかを簡単につかむことができた。
- ・ライティングは苦手だけど大学に入ったらいっぱいやらないといけないと思うから最初でライティングをする機会があったのは大学入学への心構えとしてよかったと思う。
- ・文章を要約することがこんなに難しいと分かった。お薦めしてくれた本を最後まで読み切ってみたい。
- ・要約をしてみて難しいなと思ったときにチューターの方が話しかけてくれて解決することができてよかったです。
- ・時間が足りなかったけど思っていたよりも楽しくて安心した。次は3分の2書けるペースでいきたい。
- ・文章を要約することが自分はどのくらいできるのかどうかを知ることができたのでよかったです。
- ・やはり書くためにも読まないといけないと改めて思いました。
- ・文章を論理的に書く力がいかに大事なのかをすることができた。
- ・レポート課題の書き方について詳しく説明してくれて、また書き方のコツもあったのでいつもより書きやすくて良かった。
- ・時間も時間で結構眠たかったけど、音読で目が覚めて、最後まで書けなかったけど割としっかり考えることができた。
- ・現代の人たちの読書離れの割合が高くて驚いた。要約を最後までできなかったので、授業を経て知識を学び、マスターできるようにしたい。
- ・難しかった ・あまり書けなかった ・時間が足りない

受講後の評価は、「よかった・わりとよかった」が81.8%、「どちらともいえない・よくない」が18.2%でした。アンケートより、入学前講座の目的「大学生活に向けての期待や目的意識の醸成を図る。入学前に大学の授業を体験することによって、学びへの興味・関心を広げ、大学で学ぶ意義を理解する」は達成されたものと考えます。また、ライティングセンターのチューターの皆さんの説明、声掛け等は入学後の安心感につながったものと思います。読書の習慣を身に付けることを期待します。



（報告：2025年2月17日 リベラルアーツ機構 久高利美子）